

脳梗塞の診断で入院し、 入院早期に受けたリハビリ治療の強度

【指標の説明】

廃用症候群を予防し早期の機能障害からの回復と社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもとできるだけ発症後早期から積極的なリハビリテーションを行うことが強く勧められます。また、訓練の量はリハビリテーションの効果を検討する上で重要な要素であり、本指標はこの入院早期における重点的なリハビリ介入の指標です。

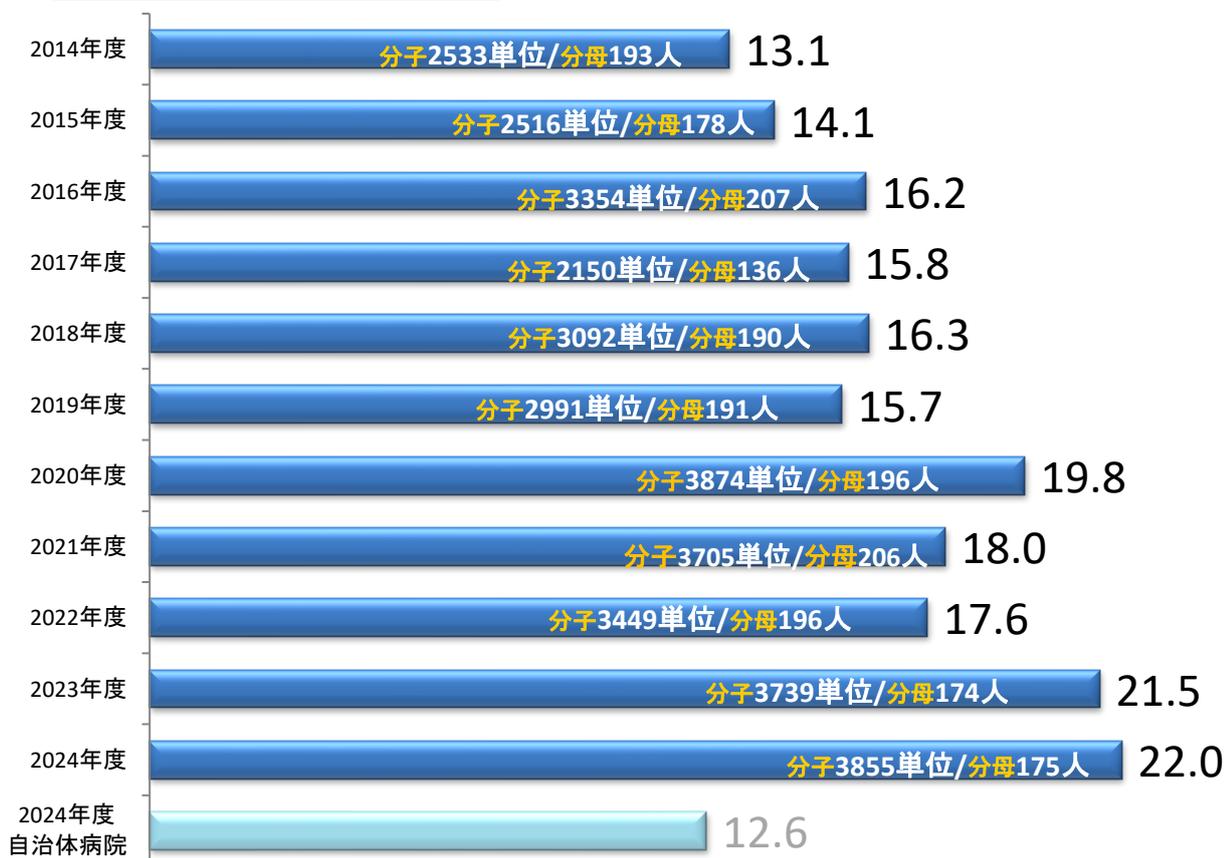
【定義】

全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」の定義に準じています。

分子 分母の患者に対する、入院7日目までのリハビリテーション施行単位数(1単位20分)

分母 発症後3日以内に入院し、かつ該当年度内に1週間以上入院した急性脳梗塞患者数

岐阜県立多治見病院の推移



数値比較: 全国自治体病院協議会公表データのうち2024年度平均値(0を除く)

【改善への取り組み・分析】

- ・ADL視点からのリハビリ介入優先順位を推進
- ・早期離床に向けた職員の意識改革
- ・土曜日診療、脳血管疾患患者の日曜診療の開始